



久米島モデルへの関心が高まっています

向け、民間事業者が実施している実証事業と連携し、深層水取水施設の整備に取り組んでまいります。

再生可能エネルギーについては、2040年までに、町内で消費されるエネルギーの100%を再生可能エネルギーによって自給することを目標としております。民間の活力を活かした海洋温度差発電の実用化に向けた実証事業、及び公共施設や一般住宅への太陽光発電設備の設置を促進するほか、本町では個人や法人に対して電気自動車や家庭

用充放電設備の導入費用について一部補助を行っております。引き続き、町内における再生可能エネルギーの普及拡大に努めてまいります。

### 防災減災への取り組み

昨年は、「能登半島地震」に始まり、日向灘地震や台湾東部沖地震、さらには奥能登や沖縄県の北部地域における集中豪雨など、さまざまな自然災害が猛威を振るった年でした。このような頻発する自然災害から住民の生命や財産、そして暮らしを守るために、自助、共助、公助による災害に強いまちづくりを推進してまいります。

消防救急体制については、複雑かつ多様化する災害に対応するため、消防職員や団員を消防学校などの研修に派遣し、消防業務に関する知識や技術の向上を図ります。また、関係機関と連携し、各種災害への対応に取り組んでまいります。さらに、昨年整備した災害対応ドローンを活用

し、火災や救急、救助などの災害現場における情報収集や後方支援、被災地の広範囲な状況把握などを行い、限られた人数で効果的な活動ができるよう努めてまいります。

防災減災については、日頃からの備えが非常に大切です。庁内における初動体制の強化や、避難行動要支援者の個別避難計画を策定し、迅速な対応ができるように関係機関との綿密な連携を強化してまいります。

また、離島である本町の地理的要因を踏まえ、地域防災計画に基づき、災害対応資機材の備蓄を充実させるとともに、物資等の供給体制を強化します。さらに、デジタル防災行政無線等の様々な媒体を活用し、来島された観光客を含むすべての方々に災害情報が届くように発信の強化に取り組んでまいります。

### 上下水道事業の推進

上水道事業については、安全で安心な生活水の安定

供給を維持するため、水源施設や浄水場などの施設の適正管理に努めます。また、今後10年間の新たな上水道事業基本計画を策定し、既設の水道施設や設備について計画的な更新を図ってまいります。

下水道事業については、令和6年度に公営企業会計に移行したことを踏まえ、これにより、経営状況をよりの確に把握し、経営の健全化に取り組んでまいります。

下水道布設工事については、銭田地区が終了し供用開始されます。本年度は山城地区に向けて県道の管路布設工事を実施いたします。

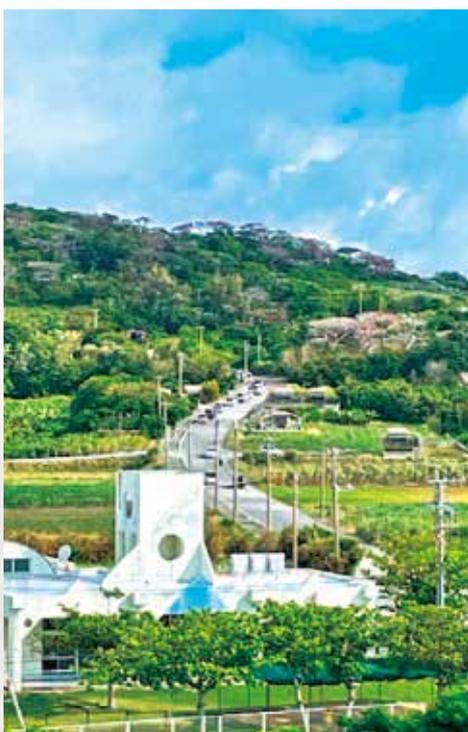
す。また、接続率向上に向けて引き続き普及啓発活動に取り組んでまいります。

### 環境保全と地域美化

「ごみのない島づくり」を実現するためには、地域全体の協力が不可欠です。美しい自然環境を次世代に引き継ぐためにも、行政のみならず町民や事業者が一丸となり、環境保全活動に取り組めるよう努めてまいります。

松くい虫防除対策については、専門家による助言をいただきながら、継続して取り組んでまいります。

地域緑化の推進について



令和6年4月の津波警報による避難の様子